

2026年2月5日

レジリエンスを可視化し、強化する情報プラットフォーム 「レジリエントタイムズ」LINEミニアプリで提供開始 —LINEヤフー「サストモ」と連動。保険・キャリア・住宅の専門知が集結—

株式会社博報堂（本社：東京都港区、代表取締役社長：名倉健司、以下 博報堂）は、生活者が日々の困難を乗り越え生き抜く力（レジリエンス）を可視化し、自分らしくしなやかに生きるための情報プラットフォーム「レジリエントタイムズ」をLINEミニアプリ上で2026年2月5日（木）より提供開始いたします。

本サービスは、I-レジリエンス株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：小林誠）が主催し、当社も企画運営として関わる「レジリエントライフプロジェクト」の一環として開発しました。



「レジリエントタイムズ」は、ユーザーが自然災害をはじめ、日常に潜む困難等を含めた幅広いリスクを、しなやかに乗り越える力（レジリエンス）を獲得するための情報プラットフォームです。従来のシミュレーションでは測りにくかった「地域とのつながり」や「めげない心」といった見えない資産も含め、個人のレジリエンスを診断・可視化。その診断結果に基づいて、生活者個人が今備えるべき知識をライフタイムに合った形で届けることで、様々なリスクを乗り越え、より豊かな生活の実現を目指すライフスタイル「レジリエントライフ」を提案します。

■開発の背景：「自分事化」できない防災から、人生の各ステージに寄り添う「レジリエンス」へ

日本は自然的条件から各種の災害が発生しやすい特性を有していますが、内閣府の調査によると、例えば家具の固定など、個人レベルでの具体的な対策の実施率は約4割※に留まっています。その背景には、いつ起きるかわからない災害を「自分ごと」と捉えきれない現状があると考えられます。一方で、テクノロジーの進化や社会情勢の変化により、ネットワーク災害や環境汚染などの社会に起因するリスクや、心身の健康やキャリア形成など個人に起因するリスクが生み出す困難が日常的に存在するようになりました。不確実性が高まる現代において、自然災害だけでなく、これら日常の困難もしなやかに乗り越える力である「レジリエンス」の向上が求められています。

※ 内閣府「令和7年版 防災白書」https://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/r07/honbun/1b_1s_01_01.html

「レジリエントタイムズ」では、こうした自然災害への備えと日常の課題解決を切り離すことなく、「レジリエンス」という一つの要素に統合。生涯を通じて変化し続けるリスクにしなやかに立ち向かう力の発揮や向上を支援し、日常を強く生きる力が、結果として万が一の底力になるとと考えています。

生活者一人ひとりの人生に寄り添い、その時々の状況に合わせた最適な「気づき」を提供するライフタイム・プラットフォームとして、不確実な時代を前向きに歩むためのパートナーを目指します。

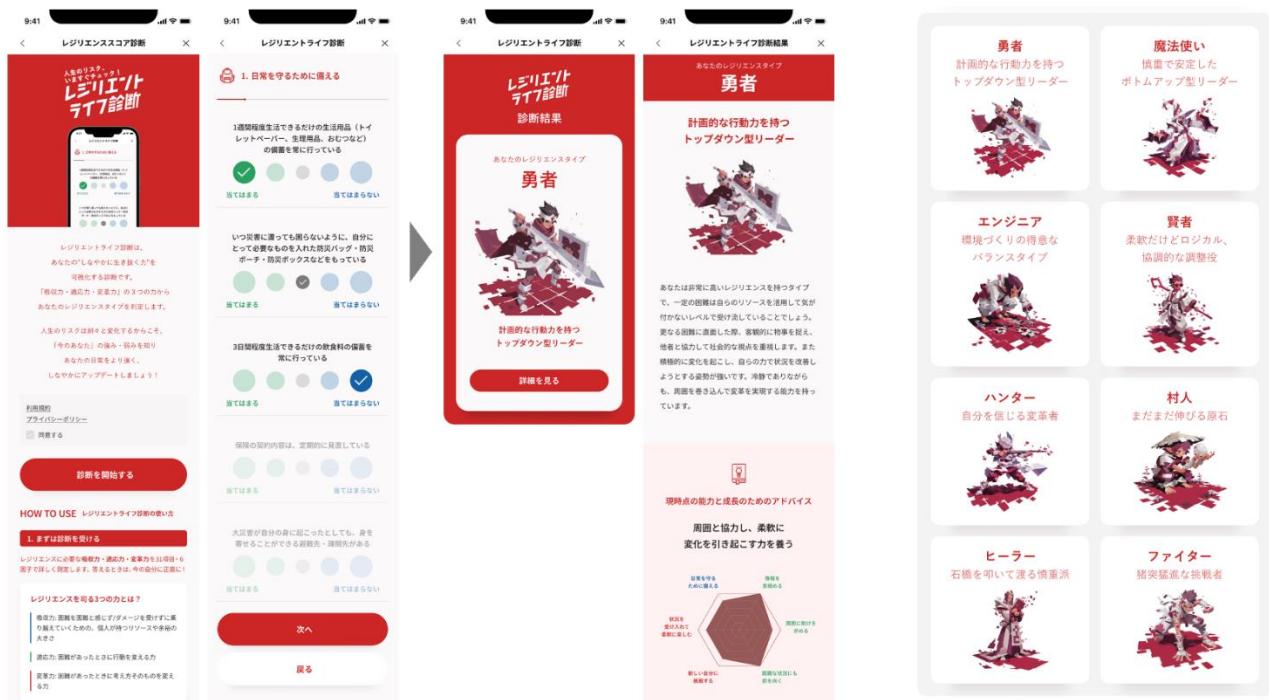
本サービスは、LINE ヤフー株式会社が運営する、サステナビリティに関するニュースやアイデアを届ける「サストモ」と連携します。2026年2月5日より、「サストモ」から「レジリエントタイムズ」へ遷移できる導線を設け、日常のサステナブルな行動をレジリエンス向上につなげるきっかけを提供します。

■ 「レジリエントタイムズ」の機能・特長

「レジリエントタイムズ」は、LINE ミニアプリを通じて、生活者が「今、何をすべきか」を理解し、行動に移せる以下の機能を搭載しています。

1. 自身のタイプをキャラクター化して診断する「レジリエントライフ診断」

31の質問に回答することで、個人のレジリエンス能力を「吸収力」「適応力」「変革力」の3つの組み合いで判定。結果に応じて「勇者」「魔法使い」「賢者」といった8つのレジリエンスタイプに分類し、強みや補うべきアクションを分かりやすく可視化します。



レジリエントライフ診断 画面イメージ

8つのレジリエンスタイプ

診断について詳しくはこちら→ <https://www.hakuhodo.co.jp/news/newsrelease/119508/>

2. 保険、キャリア、住まいなど専門記事と連携し「今備えるべき」知識をお届け

レジリエントタイプ診断で分かった「自分に足りない備え」を補うために、各分野の専門メディアと連携した記事コンテンツを提供します。診断と専門記事を組み合わせることで、「漠然とした不安」を「明確な行動」に変換することを支援します。

【連携メディア一覧】

- 「HOKENO」（東京海上日動火災保険株式会社）
- 「マイナビキャリアリサーチ Lab」（株式会社マイナビ）
- 「ミサワホーム総合研究所」（株式会社ミサワホーム総合研究所）※2月下旬より連携開始予定

※連携先はレジリエントライフプロジェクトの参画企業です。今後レジリエンスに関わる様々なジャンルを追加していく予定です。



各分野の専門メディアと連携した記事をお届け

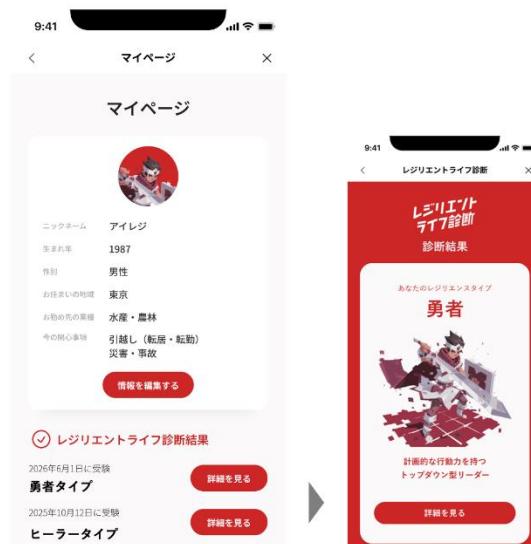
HOKENO
ホカノ by 東京海上日動

マイナビ CAREER RESEARCH LAB キャリアリサーチLab

MISAWA ミサワホーム総合研究所

3. 変化を実感し、歩みを止めない「マイページ」

マイページ上には定期的な診断履歴が蓄積され、自分自身のレジリエンスが向上していく過程を実感しやすくなっています。



過去の診断結果を
マイページからいつでも見ることができます。

■サービス概要

- ・名称：レジリエントタイムズ
- ・提供開始日：2026年2月5日（木）
- ・利用方法：LINEミニアプリ
- ・LINE友だち追加リンク：
https://line.me/R/app/2008954270-zLIGHEhb?type=app&b=1&v=20&_platform=line&ref_external_page=p_release
- ・LINE友だち追加二次元コード：



■「LINEミニアプリ」について

「LINEミニアプリ」は、店舗・企業が「LINE」上で自社サービスを提供できる新しいアプリプラットフォームです。会員証やモバイルオーダー、予約受付などのサービスをアプリの追加ダウンロード・会員登録不要で「LINE」上で提供でき、重要なお知らせを無料で通知することができます。また「LINE公式アカウント」との連携により、「友だち」をスムーズに獲得することができ、「LINEミニアプリ」を通じて取得した顧客の属性情報や行動データを活用することで、より効率的な販促活動を実現します。

*LINEアカウントと紐づいた行動データの取得・活用にはユーザーの許諾が必須となります。

詳細は公式サイトをご確認ください。<https://www.lycbiz.com/jp/service/line-mini-app/>

■レジリエントライフプロジェクトについて

レジリエントライフプロジェクトは、自然災害のリスクをはじめ、社会に起因するリスク、そして個人に起因するリスクに至るまで、あらゆるリスクが生み出す困難を乗り越えるための「レジリエンス」を高め、より豊かな生活の実現を目指す取り組みです。

<https://resilient-life-project.i-resilience.co.jp/>

■I-レジリエンス株式会社について

- ・所在地：東京都中央区
- ・代表取締役社長：小林 誠
- ・事業内容：DX事業（防災、減災を実現する情報サービス等のソリューション）
- ・RL（レジリエントライフ）事業（教育、訓練、コンサルティング）

<https://www.i-resilience.co.jp/>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 広報室 白川・西尾 koho.mail@hakuhodo.co.jp